

研修医募集要項

■ 身分

正職員（研修医）として採用

■ 勤務時間

8:30 ~ 17:30

■ 給与

一年次 月額 545,000 円
(学会参加費、出張旅費、必要書籍代含む)

二年次 月額 580,000 円
(学会参加費、出張旅費、必要書籍代含む)

※出張旅費は病院が認めたものは支給

※二年次より当直手当有り

■ 加入保険

雇用保険・健康保険

労災保険・厚生年金保険

■ 医師賠償責任保険あり

■ 宿日直

1年目 1回/週(トレーニングとして)

2年目 3~5回/月

■ 福利厚生

[宿舎]

あり(空きがない場合、月5万円の住宅手当支給)

[保育所]

事業所内保育所、病児保育施設、学童保育あり

■ 休日・休暇

年次有給休暇(1年間に10日)

インフルエンザ休暇(3日)

応募要項

募集定員: 5名 募集期間: 5月~8月 応募資格: 2022年度医師国家試験受験予定者

必要書類: 履歴書、卒業(見込)証明書、成績証明書、健康診断書 選考方法: 面接

病院見学 随時受付

病院の雰囲気を実際に自分の目で見て、感じてみませんか。

学年に関係なく、長期休暇を利用した実習も受け入れています。

申し込み先 臨床研修事務担当 安東・小副川 メールアドレス ando1901@keiwakai.oita.jp



社会医療法人 敬和会 大分岡病院

〒870-0192 大分市西鶴崎3丁目7番11号

TEL 097-522-3131 (代)

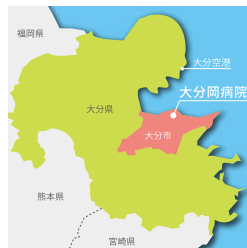
WEB



大分岡病院



医師臨床研修



OITA OKA HOSPITAL RESIDENT 2021



感染対策のため
別撮りで合成しています



そして専門分野へ

二年間の経験を武器に
各科の道を歩み始めます。

Second Year

当直でも戦力の一人に

4月 当直デビュー
興味のある診療科での研修



First Year

医師としての基礎作り

1年目の平均経験数

救急車搬入台数(2020年) — 2091件/年

ERファーストタッチ — 200人/年

CPA — 10例/年

中心静脈路確保 — 10例/年

内視鏡 — 20例/年

当直トレーニング — 3~4回/月

病棟担当患者 — 平均7名/各診療科

4月 オリエンテーション
採血トレーニング開始

7月 当直トレーニング開始



Attending doctor



院長
創傷ケアセンター長
古川 雅英

大分岡病院は研修医の先生方を歓迎し、総力を挙げて応援します。
当院は地域医療支援病院であり、二次救急指定病院です。皆さんが経験すべきCommon diseaseは、内科的外科的救急を含む多数の患者さんからほぼ全てを学べ、診断能力、治療技術を磨くことができます。また個人の研修を尊重し、ワークライフバランスも大切にしています。



院長補佐
臨床研修センター長
迫 秀則

私は臨床研修センター長として研修医の皆さんが元気で楽しく研修できる環境を提供したいと考えています。研修とは言え医師としての仕事ですから、楽しい事ばかりではなく難しい事や苦しい事があるのは当然ですが、毎日の事なので楽しくなければ続かないと思います。私の仕事は研修医の誰かが辛そうにしていたり悩んでいたりにいるのをいち早く察知して、少しでも問題を解消してあげることだと考えています。毎日楽しく研修できて、あっという間に2年間の研修を終えて「大分岡病院で研修して良かった」と言ってもらえたら嬉しいですね。

副院長
臨床研修副センター長
佐藤 精一

私は大分岡病院研修医1期生です。研修終了後複数の市中病院を転々としてきました。大分岡病院の良いところの1つは、メディカルとの距離が近くコミュニケーションを取りやすい事だと思います。当時頭で理解できても手が動かない状態だった私は、メディカルの方々に本当に助けられました。大分岡病院での研修、是非検討してみてください。



消化器外科医長
部 由貴

私は市中病院(県外)での初期臨床研修後、医局入局し、現在は医局派遣勤務をしています。指導医となった今でも自分の研修医時代を懐かしく思うとともに、研修医時代の同期は苦悩を分かち合ったかけがえない存在であることを実感します。当院は救急初期診療および各科での個別指導を得ることのできる病院です。ぜひ大分岡病院で最高の仲間を作ってください。





小野 遥歩

出身大学
大分大学医学部

1 年間の成長や変化

大分岡病院で研修を始めて1年が経過しました。1年前は初めて経験することばかりで右往左往していましたが、似たような症例や手技を繰り返していくうちに、まだ十分とは言えませんが1年前よりは落ち着いて診療や業務ができているように感じます。昨年の4、5月は不安ばかりを感じていましたが、「楽しい」と思えるようになったのは大きな変化だと思います。

2 年目の目標

1年目の前半は、国家試験の知識では太刀打ちできない病棟業務や救急の対応などに慣れることに必死で、先生方やスタッフの皆さんに手取り足取り教えていただきながら診療にあたっていました。2年目になり、体力的にも精神的にも余裕が生まれてきたので、主体的に診療することを意識しながら日々の研修に励んでいます。

後輩へのメッセージ

研修先を決める上で大事にしたいポイントは人それぞれあると思います。私はチャンスがたくさんある病院で研修をしたいと考えていたため、研修医の人数がさほど多くない病院で、指導医の先生方の強力なバックアップの元で様々な経験ができる当院での研修がぴったりでした。手を動かしたい人にはおすすめの実験先です。候補の一つとして是非考えてみてください。

1 年間の成長や変化

1年前の今頃は何もできなかったなあと振り返ってみて思いますね。今そんなにできるようになったわけではないですが、救急車の対応や病棟からのコール、患者さんの急変時の対応など(手技も含め)確実に少しずつできることが増えているのは実感できます。それが自信につながり、視野が広がったと感じますね、少しだけですけど。笑

2 年目の目標

1年目で手技を多く経験できたので、2年目は座学もしっかりやっていきたいと考えています。1年目は目の前の仕事に一生懸命で、それ以外のことに取り組む余裕がありませんでした。現場での動きに慣れ、知識が追いついていないのを感じます。論文やガイドラインなどもしっかりと勉強していきたいです。

後輩へのメッセージ

狭い考えに囚われず自分のやりたいことをやるのがいいと思います。研修病院を選ぶのもそのためです。謙虚な姿勢は大事ですが、自分の人生ですので、他人や家族に迷惑をかけない範囲で自由に生きたら良いと思います。これから卒業試験や国家試験など大変なことが多いですが、あくまで通過点ですので気負いすぎず、ゆるく頑張ってください。



倉本 拓哉

出身大学
大分大学医学部



高井 風馬

出身大学
大分大学医学部

1 年間の成長や変化

自分には何ができて、何ができないのか、また今後身に付けるべきスキルは何かがだんだんと分かってきたように思います。医学の知識、技術は膨大であり、そのすべてを習得することは不可能だと思っています。知識として頭に入れておくべきこと、必要な時に調べてそれを患者さんに還元できるようにすること等、整理整頓が必要です。この1年で、これから少しずつスキルを整理していく棚の枠組みが見えてきたように感じます。

2 年目の目標

私は将来心臓血管外科に進もうと思っています。将来の進路である循環器領域や周術期のトレーニングを積むのはもちろんのこと、そうではない領域でも積極的に経験を積みたいと思っています。研修医時代に1回経験するか、否かはとても大きいと感じています。だからこそ、将来絶対に進まない領域の研修を大切にしたいです。百聞は一見にしかず、病院のあちこちに顔を出して幅広い経験をすることが今年の目標です。

後輩へのメッセージ

大分岡病院の特徴は、診療科の垣根の低さと手術件数の多さだと思います。他の診療科の先生に気軽に相談できる環境は、マルチなスキルを身に付けるには最高の環境です。外科領域の診療科に興味がある人には大満足の研修病院でしょう。研修医のうちからたくさん手術を見て、感じて、参加することは、その後の外科医人生において大きな糧となるのではないのでしょうか。大分岡病院は君を待っている！

1 年間の成長や変化

中心静脈カテーテルが挿入できるようになった等の手技がよく成長・変化で述べられがちですが、私が考える研修1年を終えた成長・変化は患者さんに対する向き合い方が1番変化したことかもしれません。学生の頃は患者さんよりも疾患について学ぶ機会が多く、研修医になり同じ疾患でも各々の患者さんによって治療方針などが異なることを改めて実感し、患者さんのバックグラウンドなど色んなことを考え、治療にあたる姿勢を学ぶことができました。

2 年目の目標

2年目になりそろそろ進路を決めなくてはいけなくなりました。自分自身は外科系の診療科に進みたいと考えていますが、その診療科だけのことばかり学んでいてはいけないと考えており、糖尿病や慢性腎不全などの内科的疾患についてもしっかりと学び、自分のできることを増やしていきたいと考えています。また1年目の時はICUのことは上級医に任せざりでしたが、自分で評価し、治療方針を組む立てられる研修医になりたいと思っています。

後輩へのメッセージ

実際、内科の診療科は少ないですが、外の病院で大分岡病院に無い診療科を研修できます。自分は6つの病院で研修し、色んな先生方と関わることで、1つの病院での研修よりも視野が広がって大変有意義な研修ができています。またスタッフは非常に優しく指導医以外でもしっかりと指導してくれます。自分自身は大分岡病院で研修をして大変充実しています。少しでも大分岡病院に興味のある方は是非病院見学に来てください。有意義な研修を大分岡病院で！



板東 翔

出身大学
大分大学医学部

平賀 大輝

出身大学
大分大学医学部



1 年間の成長や変化

社会人として自覚ある行動ができるようになったと感じています。1 年目の当初は、指導医の先生や2 年目の先輩方にどこか頼ってしまいがちでした。しかし研修医が主体となって診療を行っていく当院の研修プログラムのおかげで、医師として能動的かつ責任ある行動を取ることができるようになってきたと思います。まだまだだとは思いますが、この1 年間で自分の意識が変化したように思います。

2 年目の目標

1 年間の研修を終え、先輩ができたと共に来年からは研修医ではなくなります。医学そして社会人としての振る舞いを先輩へ指導しながら、3 年目に向けて自分の将来を見据えた研修をしていきたいと思っています。まだどの診療科に進むかは決まっていませんが、当直や病棟管理などを1 人で行うことができるように、研修医の特権を使って分からないことは今のうちに質問をして自分なりに深めていく、そういった1 年にしたいと考えています。

後輩へのメッセージ

正直どの研修病院でも、自分のやる気次第で実りある研修にすることが可能だと私は思います。ただ人間は周りの環境に左右されてしまうものです。当院は救急症例も多く様々な手技を経験できます。そして研修医が主体となりながらも必ず指導医の先生がバックアップしてくださり、一つ一つ丁寧な指導を受けることができます。また他職種の方にも質問しやすい、充実した環境が揃っています。ぜひ当院での研修を考えてみてはどうでしょうか。

レジデントに聞いてみよう！

Q 大分岡病院で研修をしようと思った理由は？

A 実習で病院に来た時の雰囲気も良く、研修医の人数が少ない中で多くの経験ができる環境が良かったからです。

Q 実際に研修をしてどうですか？

A 様々な症例や手技を経験することができ大変ありがたいです。

Q 大分岡病院にない診療科で研修したい場合はどうなりますか？

A 大分岡病院にない診療科でも、大分岡病院に所属しながら協力型、協力施設で研修ができます。一人一人にきちんとプログラムを組んでくれるので、安心して研修ができます。

Q 休みはありますか？

A 基本は土日休みですが診療科によっては担当患者さんを診に来たり、勉強のため病院に来ることもあります。先生たちは休みやすい雰囲気を作ってくれています。

Q 医局の雰囲気はどうですか？

A 医局の雰囲気はすごくいいと思います。研修医室がない分、わからないことがあればすぐ聞ける環境にあります。優秀な先生たちとの距離感が近いことがこの病院の強みだと思います。

Q 学生の時にやっておくべきことは？

A 勉強に限らず色々な経験をしておくことが大事だなと思いました。たくさん遊んでください！



&



First Year 研修医1 年目 [第17 期生]

市原 広基

出身大学
大分大学医学部



"楽しく頑張る！" 大分岡病院のキーワードはこれだと思います。病院決めで迷えるみなさんにお伝えします。"どこで研修するかより、何をしたいか"です。数ある研修病院の中で大分岡病院は手技や処置、救急対応が自分でできます。優しく指導してくれる先生やスタッフのいる環境で、昔は引込み思案だった僕が今ではがむしゃらにチャレンジ出来ています！大分岡病院という大船に乗ったつもりで一緒に楽しく頑張りましょう！

佐藤 雄太

出身大学
大分大学医学部



先生方は気さくで楽しくて、そして真剣な方々ばかりなので、自分がわからないところをすぐに聞くことができます。レベルの高い手術にも参加でき、執刀医も可能です。コメディカルの方々も素晴らしい方ばかりです。研修医として鍛えられるべきことが鍛えられる、とても素晴らしい病院だと思います。帰宅時間までは毎日が濃密な時間です。素晴らしい研修期間を過ごしたいという人は是非お待ちしております。

田村 尚輝

出身大学
大分大学医学部



大分岡病院で研修が始まり約2 カ月が経過しました。はじめの2 カ月は循環器内科で研修をしました。なにもわからない状態からのスタートでしたが、オーダーの仕方や薬の選択など、どんな些細なことでも、指導医の先生方だけでなく看護師さんやその他スタッフの方々から優しく教えていただきました。また、多くの手技も経験させていただき、充実した研修生活を送っています。1 年後、一緒に研修できることを楽しみにしています。

前田 晃希

出身大学
大分大学医学部



医師としてスタートを切り早2 カ月、2 年目の先輩方を見て力の差に圧倒される日々ではありますが、来年の今頃には自分もと信じ、日々努力をしています。大分岡病院は研修医の数がそれほど多くないので1 人1 人にしっかりと指導していただける環境があります。そして、研修医の内に身につけておきたい手技(挿管 CV など)を経験するチャンスも多く、医師として着実に成長していけると思います。ぜひ一緒に働きましょう。

米増 諒介

出身大学
大分大学医学部



まだわずか2 カ月という短い研修期間ではありますが、その中で感じたことをお伝えしたいと思います。当院ではとにかく経験できる手技が豊富と感じています。麻酔科ローテーションの期間には挿管はもちろん他の手技も多く経験できました。とにかく自分で手を動かして学びたい方におすすめです。救急科ではファーストタッチを任せてもらえます。最初は不安もありましたが、上級医の先生やコメディカルの方と相談しながらどんどん経験を積むことができます。少しでも興味がある方は是非一度見学にいらしてみてください。

渡辺 颯

出身大学
大分大学医学部



大分岡病院で勤務してまだ数カ月しか経っていませんが、その中でも最大限に学ばせてもらっていると日々実感しています。研修医の数がそこまで多くなく、指導医の先生も近い関係で接していただけのため、自分が診たい症例や、やりたいことをお願いするとやらせてくれることが一番感動していることです。休日もしっかりあり非常に充実した日常を送れています。ぜひ一度見学でもよいので来てもらえればと思います。